

夏に負けないで!

水分補給を充分に!

七月に入り、梅雨のうっとうしい季節にはいると思うと、憂鬱になります。でも、越えねばならぬ試練です。皆様は、何とぞ耐えしのいでいただき、お盆をお迎えくださいますようお願いいたします。

さて、過日、七歳の子どもが、行方不明となり、消防団、警察、自衛隊が総動員して、見つからなかった。

そして一週間後、子どもが無事発見でき、安心しました。子どもの智慧というのは、すごいものです。窮地にたたされれば、人間はどんな不可能なことでも可能にして、生き延びられることができる。どう生きていくかを智慧出していくことです。株安円高で、私たちの暮らしは、きびしくなってきた。政府は、経済を成長させようとやっきにやっておられますが、私たちの暮らしはいついこうに豊かになりません。

こんな時こそ、仏の教えと接して、心豊かに暮らしてみませんか。



観音経の心

読経には、功德が得られることを知っていますか。法華経の最終巻に観音経が書かれています。その一節を紹介します。

「若し、悪人があなたを山の上から突き落とそうとしても、観音を念ずれば、その悪人は何もすることができない。」「若し、賊が刀を取っ

てあなたを害そうと思っても観音を念ずれば、すぐに慈悲の心を起こす」「王が苦難に会い、処刑場で命を絶たれようとするとき、観音を念ずれば、刀がばらばらになる」「これらを読んで信じられないと白隠禅師が思ったそうです。しかし、やがて、観音経に書かれていることは真実だと悟り、一生懸命に観音に念ずることを勧められました。このお経には、信じられない奇跡が起こり、病も治り、家内も安泰になるといいます。そんな馬鹿なことがあるはずがない。もしそうなら、誰もが幸せになつていと思うのが普通です。しかし、それは信じないから奇跡が起こらず、観音菩薩になりきる、あるいはなりきろうとするなら、奇跡が起こるので。是非信じてみてください。本当に信じ、仏と一体になれば、功德は必ず得られるのです。

別時念仏会、結集者

九十人 集める

今年、玉泉寺が当番と言うことで、役員の皆様には、大変お世話になりました。

おかげさまで当日、結集者九十人のお参りをいただき、念仏を唱える喜びを体験されたことは住職として感無量の境地に到ることができました。この念仏会のお支えいただき誠にありがとうございました。

あとで知ったのですが、この念仏会は、昭和二十七年に、私の祖父の木村哲忍上人が、高島門中の住職に呼びかけて、真盛上人のみ教えを広めるためになされたのです。びつくりです。

さらに、玉泉寺は第一回目をつとめられたことは、不思議な思いです。五十五年間、各住職と高島市内の八三〇戸の檀信徒の皆様を受け継がれていることに感激です。

念仏を唱えながら、本堂中を歩き回って、多くの仏さまに出会われたことは、幸せなことであったと思えました。

天気は、雨模様でしたが、お帰りの時に雨が上がったことは、仏さま



のお守りがあったのではないかと感じました。

ご奉仕の募集

境内にあります桜の木が伸び放題になり、うるわしい山門が隠れてしまい、景観を損なっています。ある人が、山門が泣いていますと聞きました。これを放置しておきますと、山門が傷みます。この際、枝を払いたいと考えますので、スタッフを募集します。実施時期は、晩秋のころにしたいと思しますので、住職まで申し出てください。

私のいただきもの

この私の命そのものは、自分の意思ではなく、両親から頂戴しました。その両親にも親がいました。十代さかのぼって、親の数は、一〇二四人にもなります。すべての親は、よりよく生きて欲しいと言う願いをもって子どもを見守つてきました。そして水や空気・太陽の光などの大自然の恵み、長い年月で蓄積された腐葉土や石油などの鉱物資源、多くの動植物の犠牲の上に成り立っている食事ももう一度見直してはいかがでしょうか。

お盆のスケジュール

※混雑されることを予想して、今年、六日(土)より墓参りを始めます。

八月七日(日) 〇 十二日(金) お墓参り

午前五時半より午前十一時

八月十三日(土)

午前五時半から六時半 佐賀区

午前六時半から七時半 上寺区

八月十四日(日) 棚経参り

午前五時より午後八時になりますので、朝早い方、

夕方以降になる方には、ご理解ください。

八月十五日(月) 午前五時より

盆のあいさつ受けをします。持参品米もしくは五百円、塔婆代二百円です。塔婆に水を捧げて仏さまの供養をします。これについては、生

きている私たちが餓鬼におちいることがないように、水を捧げます

午後一時半 盆施餓鬼法要

有縁無縁の仏様の縁を結んで、家内安全と幸せを祈ります。

※初盆を迎える方々には施餓鬼法要をして、亡き方を供養して、家族・親族の平安を祈りますので、お参りください。



写経会を毎月していますので、希望される方には、お申し出てください。

毎月法話会

十月間、毎月十五日に開催しますが、午前七時半から午後七時半まで受付けています。ご連絡ください。「玉泉寺住職日記」のブログに毎日更新していきます。

びんずる会の活動

写経、奉仕、座禅をして、心の修養をしますので、皆様のご参加をお待ちします。参加してみようと思われる方は、ご一報下さい。

発行者 高島市安曇川町田中三四五九

天台真盛宗玉泉寺 木村 哲基

電話 〇九〇―三七〇八―七二〇六

FAX (〇七七) 五〇二―二二七九

Eメール svka3737@eto.eonet.ne.jp

新Eメール info@gyokusenji.com

ホームページ「滋賀高島石仏の玉泉寺」と「玉泉寺住職日記」をらん下さい。